

高等学校 令和8年度（4学年用） 教科 国語 科目 文学国語

教科：国語 科目：文学国語 単位数：4 単位

対象学年組：第3学年 1組～3組

教科担当者：（1組：岩瀬）（2組：岩瀬）（3組：岩瀬）

使用教科書：（新編 文学国語）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】社会生活に必要な国語の知識・技能

【思考力、判断力、表現力等】創造的に考える力

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通して他者や社会に関わる力

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
読み手の関心を得られるように工夫された内容紹介文を書いたり、小説や詩歌などを創作する。	近代以降の文学作品を読み、作者の表現の工夫や表現の背景にあるものを考え発表する。また、古典の文章を読み、日本の言語文化への理解を深める。	古代から現代までの文学的な文章を読んで、日本文化への理解を深める。作品について考えたことを文章にしたり発表したりする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
A 単元「星取り」「児の節食ひたること」 【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、登場人物の言動や話のおもしろさを読み取る。	・本文読解 ・ワークシート ・小テスト	○	○	○	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、登場人物の言動や話のおもしろさを読み取るようとしている。	○	○	○	16
B 単元「書く」言葉でスケッチ 【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書く。	・ワークシート ・作品作成		○		【知識・技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書くようとしている。	○	○	○	9
定期考査						○	○		1
C 単元「山月記」 【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、小説の文体や登場人物の心情について理解を深める。	・本文読解 ・ワークシート ・小テスト	○	○	○	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、小説の文体や登場人物の心情について理解を深めようとしている。	○	○	○	16
D 単元「書く」思いを言葉に 【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読み手を想定して、相手に応じた内容や構成、表現を工夫しながら書く。	・ワークシート ・作品作成		○		【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読み手を想定して、相手に応じた内容や構成、表現を工夫しながら書くようとしている。	○	○	○	9
定期考査						○	○		1

